

令和6年度第1回滝合小学校学校運営協議会 議事録

開催日時	令和6年4月22日(月)16時～17時半	作成日/作成者	令和6年5月3日 中島			
議題	任命書交付、委員自己紹介、学校経営方針について、各部会情報共有					
委員	氏名	所属	出席	氏名	所属	出席
委員	大野 豪祐	保護司(地域住民)	○	佐野 礼子	ひのっちコーディネーター、たきあい塾代表、四中地区青少年育成会(地域住民)	○
	中島 愛子	PTA会長(保護者)	○	小田 薫	学校支援コーディネーター、滝合小カラーガード代表(地域住民)	○
	尾形 重男	農業社会人講師(地域住民)	○	大橋 佳代子	学校支援コーディネーター、図書協力員(地域住民)	○
	中山 良昭	平山中校長(関係行政機関の職員)	○			
	佐藤 美徳	滝合小学校校長	○	苫米地 陽子	滝合小学校副校長	○
	佐藤 健太	滝合小学校教職員	○	清水 勇輝	滝合小学校教職員	×

議事

佐野副会長の司会により進行

1. 滝合小学校 学校運営協議会委員任命書交付

2. 大野会長挨拶

- ・ 自身滝合小学校の出身で現在は安養院で住職をしている。分からないこともあるが澤野会長の後任として、みんなで協力して良い会、良い学校にしていきたい。

3. 学校長挨拶

- ・ コミュニティ・スクールは今年度2年目になり、より良くしたいという思いがある。学校運営に関し、今まで学校のみで判断してきたことも、学校運営協議会において委員の皆様から意見をいただいたり、承認いただいたりすることで、安心して経営することができている。

4. 委員自己紹介(今年度新任の方のみ記載)

- ・ 中山委員: 平山中学校校長、4月に八王子松木中学校から昇任。
- ・ 大橋委員: 学校支援コーディネーターとして主に花壇の整備、図書協力委員として図書整備をしている。

5. 令和6年度学校経営方針(佐藤校長)

- ・ 第4次日野市学校教育基本構想を基に滝合小学校の経営方針を策定した。
(参考: <https://sites.google.com/ed-hino.jp/4th-concept>)
- ・ プロジェクトの「地域と共に歩み、安心できる学校づくりプロジェクト」に関し、当校は既に取り組み、形になっていると認識。教育目標はいずれも新しい教育基本構想に基づいていることから、昨年度と同様「未来を創造する子」とし◎自ら考え学ぶ子(重点目標)、

○思いやる心を持ち共に生きる子、○健康でたくましい子、とした。これらの目標に対し、今ある姿をさらに良くしていきたい。

- ・ 新年度を迎え2週間が経ち、職員の体制も固まって子供たちにも落ち着きが出てきた。5月25日(土)に開催される運動会に向け準備を開始するところ。運動会を1学期に、展覧会を3学期とすることで、2学期の学び、活動にゆとりができる点がメリット。保護者にもご理解いただきありがたい。
- ・ 2月にポンプを取り替え、水量が確保することができた。これからはビオトープの流れや周囲の整備をしていく。
- ・ 4月18日(木)には環境委員会が開催され役割分担が明確になった。
- ・ PTAも制度づくりを進めており、5月14日(火)には対面での総会を予定している。

6. 各部会より

- ・ 環境整備部会
 - 校舎外の環境はかなり良くなってきており、次は校舎内のことを優先してほしい。(尾形委員)
 - 花壇やプランターの整備は8年目になり苗がやっと根付いてきた。あじさいガーデンやクリスマスローズも見頃になるだろう。滝合小の桜で塩漬けを作り入学式で来賓の方に振る舞うことができた。新型コロナウイルスの影響で図書ボランティアの活動が休止しているが、今年度から再開し学級文庫などを整備していきたい。(大橋委員)
 - ひさしの補修は、一段落。2か所のボイラー室は、昨年度バリケード設置までで未補修。校門付近の桜の木が古くなっており1本は根元から伐採した。芝生は雑草が増え手入れが必要なシーズンに入り、伊藤用務主事が整備を実施中。4/20には芝開放Dayで6.5キロの雑草を抜いた。(苫米地副校長)
- ・ 学習支援部会
 - 今年度の漢字検定は11月8日(金)に実施し、1学期中に案内を出す予定。昨年度は50名ほどが受験した。当日のボランティアは必要な人数が集まったが、企画や運営をするメンバーが皆卒業してしまい一人で切り盛りしたので、準備段階からたくさんのお手伝いに参加していただきたい。(小田)
 - たきあい塾は、今年度も6月4日(火)から2年生以上を参加対象に、20回の開催を予定している。講師も20名程度の体制としており、しっかりと学習をサポートしたい。(佐野)
- ・ 防犯・防災(安心・安全)部会
 - 今年度も学校と協力して新1年生の地区班の確認や集団登校の連絡を行った。4月9日(火)は集団登校を行った。今年度もセーフティ地区窓口や地域の方と連携して、安心安全な校区とすると共に、保護者や地域の方の意識向上に取り組むたい。(中島)

7. その他

- ・ 皆さんと共有したいキーワードとして「地域の学校」がある。「地域の学校」は何かと考えると「文化的な拠点としての学校施設」があるが、当校は芝生をフィールドとし学校の注目度を上げていきたい。学校の注目度が上がることで地域の人の目が向き、また、いろい

ろな人が運営に参画することで、学校の安全性が高まることに期待している。子供たち、教員、保護者の安心感が高まり、その安心感の中で自由な表現、挑戦ができ、「地域の学校」としてのムードが高まると考えている。どう地域社会の力を引き出していくかとてもやりがいのあることである。(佐藤校長)

- ・ 都内では教員の不足が続いている。当校も例外ではなく人員配置は厳しい状況。その中でウサギの飼育も一つの課題である。特に長期休業の間、職員がウサギの飼育のためだけに出勤することもあり、地域の方に飼育の一部をお願いできないか考えたい。まずは7月の3連休、さらに夏休みに向けて、必要な体制を整えた上で学校から情報発信をしていくが、委員の皆様にもご協力いただきたい。(佐藤校長)

次回) 令和6年度 第2回 学校運営協議会 6月10日(月) 16時から
校長室またはランチルームにて